

## 第23回全国金魚すくい選手権大会公式規程

### 第1条 競技用具

- 1 用具は全て主催者の用意した物を使用するものとし、ポイは競技の直前に渡す物を使用する。
- 2 水槽の大きさは縦136cm、横65cm、深さ23cmとする。
- 3 ポイは5号・内径約8cmとし、個人戦・団体戦とも1名1枚限りとする。
- 4 ボールはお椀型、内径20cm以内とし、個人戦は1人に1個、団体戦は1チームに2個使用する。
- 5 水深は約10cmとする。
- 6 競技中エアーポンプの使用は、原則的に一時中断する。
- 7 競技者は、必ずゼッケンをつけて競技しなければならない。

### 第2条 金魚

- 1 種類は和金のみとし、寸法は4cm程度とする。
- 2 1水槽の収容数は約1000匹とする。

### 第3条 競技の種類

- 1 競技は個人戦は小・中学生の部と一般の部に分けて行い、団体戦は、3人1チームで行う。
- 2 競技は、1人1枚のポイで3分間で何匹すくえるかで競う。
- 3 1水槽の競技者は個人戦4人まで、団体戦2チームまでとする。
- 4 審判員は、各水槽に2人以上とする。

### 第4条 競技の開始と終了

- 1 競技者は、必ず競技開始10分前の招集コールに集合しなければならない。
- 2 競技はスターターの合図により開始し、「1分経過」「2分経過」「10秒前」のかけ声を経て、5秒前からカウントダウンし、合図で競技終了する。
- 3 競技時間内であってもポイが使用不能になった時、又は競技の停止の宣告をうけたときは、その競技者は競技を終了しなければならない。

### 第5条 成果の認定

- 1 競技終了後、審判員は直ちに匹数を記録係に報告しなければならない。
- 2 個人戦の一般の部は一回戦8組各25位まで、小・中学生の部は一回戦5組各40位までを準決勝進出とし、準決勝2組の各25位までの計50名で決勝を行う。  
団体戦は、一回戦7組各14位までを準決勝進出とし、準決勝2組各12位までの計24チームで決勝を行う。
- 3 一回戦で同匹数の場合は抽選で準決勝進出者を決定する。準決勝で同匹数の場合は、一回戦の匹数により決勝進出者を決定する。一回戦も同匹数の場合は抽選で決定する。決勝の順位決定において同匹数の場合は、準決勝の匹数で決定する。準決勝の匹数も同数の場合は一回戦の匹数で決定する。ただし、決勝で1位が同匹数の場合のみ該当者間で優勝決定戦を行う。

### 第6条 競技規則

- 1 競技者は必ず片手で競技を行い、もう一方の手でボールを触れてはならない。
- 2 競技者はポイの円の部分に触れて競技をしてはならない。
- 3 競技者は水槽の壁面を利用してポイで金魚をすくい上げる行為をしてはならない。（壁

すくい禁止)

- 4 競技者は金魚をすくう際、ポイを水面から完全に上げずに金魚をボールへ流しこんで  
ならない。(流しこみの禁止)
- 5 競技者の配置は、下図「選手の配置について」のとおりとする。
- 6 競技者は整列中から体育館シューズもしくはスポーツシューズを着用して競技するも  
のとする。
- 7 団体戦において各競技者は、ポイは自分のポイ以外を使用してはならない。また、他選  
手の助力行為をしてはならない。
- 8 競技者は競技中に、肘関節を水の中につけてはならない。
- 9 競技中に反則行為を繰り返す場合、3回目をもって競技の停止を宣告する。
- 10 反則行為、又は著しいマナーの欠如により審判員より競技の停止の宣告を受けた  
者は、直ちに競技を終了しなければならない。審判員に対する暴言等の威嚇的行為につ  
いては競技停止とする。
- 11 反則行為によってすくった金魚は計数しない。

#### 第7条 競技者の心得(マナー)

- 1 競技者は常に金魚すくい技術の向上につとめるとともに動物愛護の精神を涵養し、金魚  
に愛情をもって接するものとする。
- 2 競技中、大声を出したり、談笑したり、他の競技者の集中力を妨げるような行為をして  
はならない。

#### 第8条 表彰

- 1 個人戦は10位まで、団体戦は5位まで表彰する。
- 2 個人戦の一回戦、準決勝、決勝を通じて、最も多くすくった選手を表彰する。

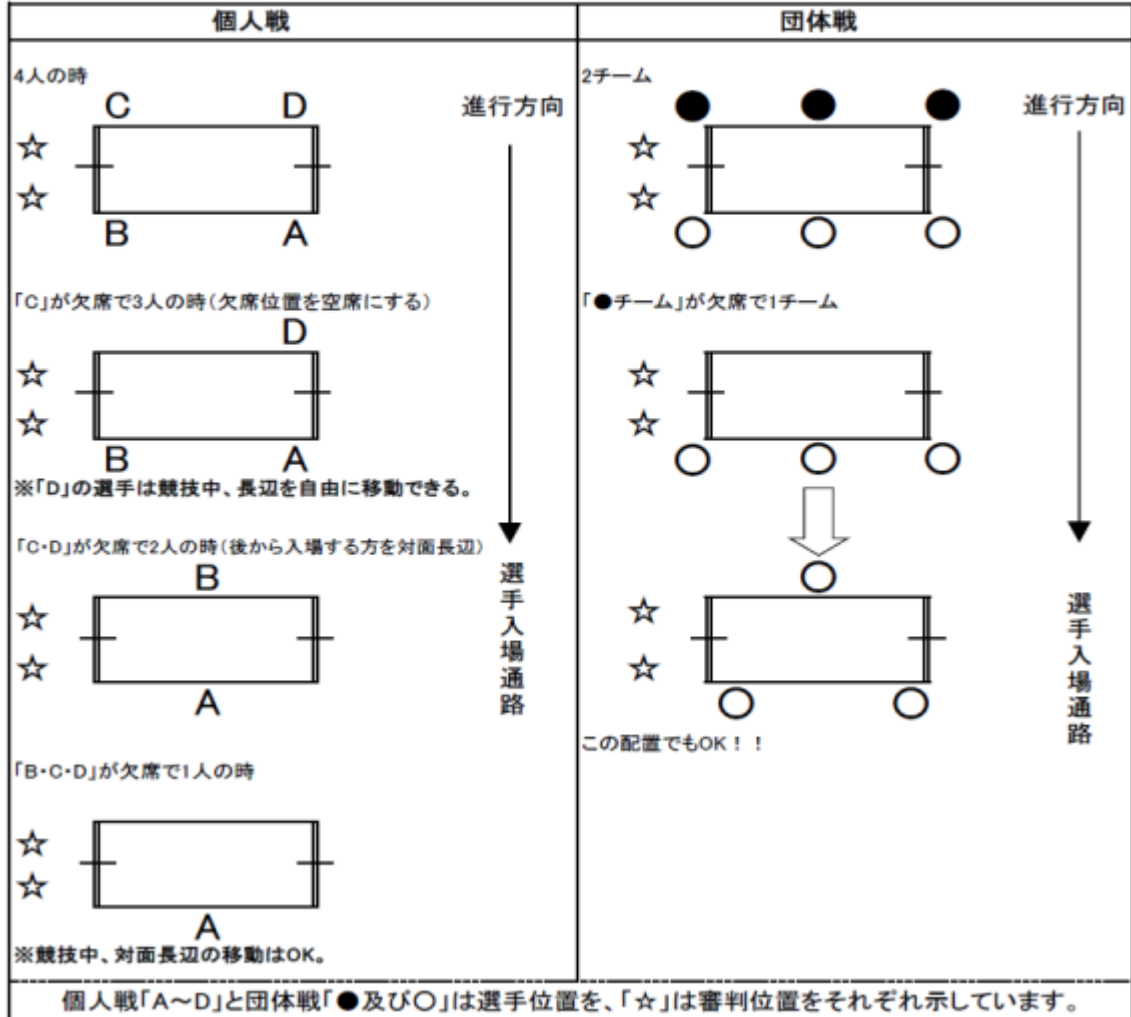
### 選手注意事項

- 1 本大会は、第23回全国金魚すくい選手権大会公式規程によって行います。
- 2 選手はプログラムを確認し、競技開始10分前にはプラカード前に集合してください。集  
合時間に遅れると失格となりますのでご注意ください。
- 3 選手は大会終了まで必ずゼッケンを胸と背中の2カ所に付けておいて下さい。
- 4 団体戦キャプテンの方はキャプテンマークのついたゼッケンを付けて下さい。
- 5 競技運営の支障となりますので、選手以外の方は絶対に競技場内に入らないで下さい。
- 6 選手はプラカードの誘導に従って水槽へ入場し、競技終了後も誘導に従って退場して下さ  
い。
- 7 同匹数抽選場所では準決勝、決勝進出者の抽選・発表がありますので指示があるまで解散  
しないで下さい。尚、団体戦はキャプテンのみ抽選場所へ入って下さい。
- 8 個人戦10位までの選手、団体戦5位までのチーム、及び最高匹数者は商品がありますの  
で必ず表彰式に出席して下さい。
- 9 選手は必ず審判の判定に従って下さい。
- 10 故意に金魚を痛めつけるようなことは絶対にしないで下さい。
- 11 エアーポンプ・エアーホースを踏まないように注意して下さい。
- 12 金魚が著しく弱くなった場合、競技中もエアーポンプを使用する場合があります。
- 13 貴重品は、各自で管理して盗難には十分注意して下さい。

## 観戦者注意事項

- 1 競技中に水槽の近くで大声で騒ぐ等の行為をする者に対しては、審判員より退場を宣告する場合があります。

## 選手の配置について



- ・個人戦、団体戦ともに、水槽の短辺（上図中、二重線部分）に座ることは不可です。ただし、コーナーは可。
- ・水槽の短辺中央にテープを貼りますので、そこから選手の身体がはみ出さないように「注意」を促してください。
- ・個人戦1人、団体戦1チームの場合のみ、水槽対面（長辺）への選手の移動は可能です。
- ・競技開始前に、水槽に影を作っている場合は「注意」を促してください。